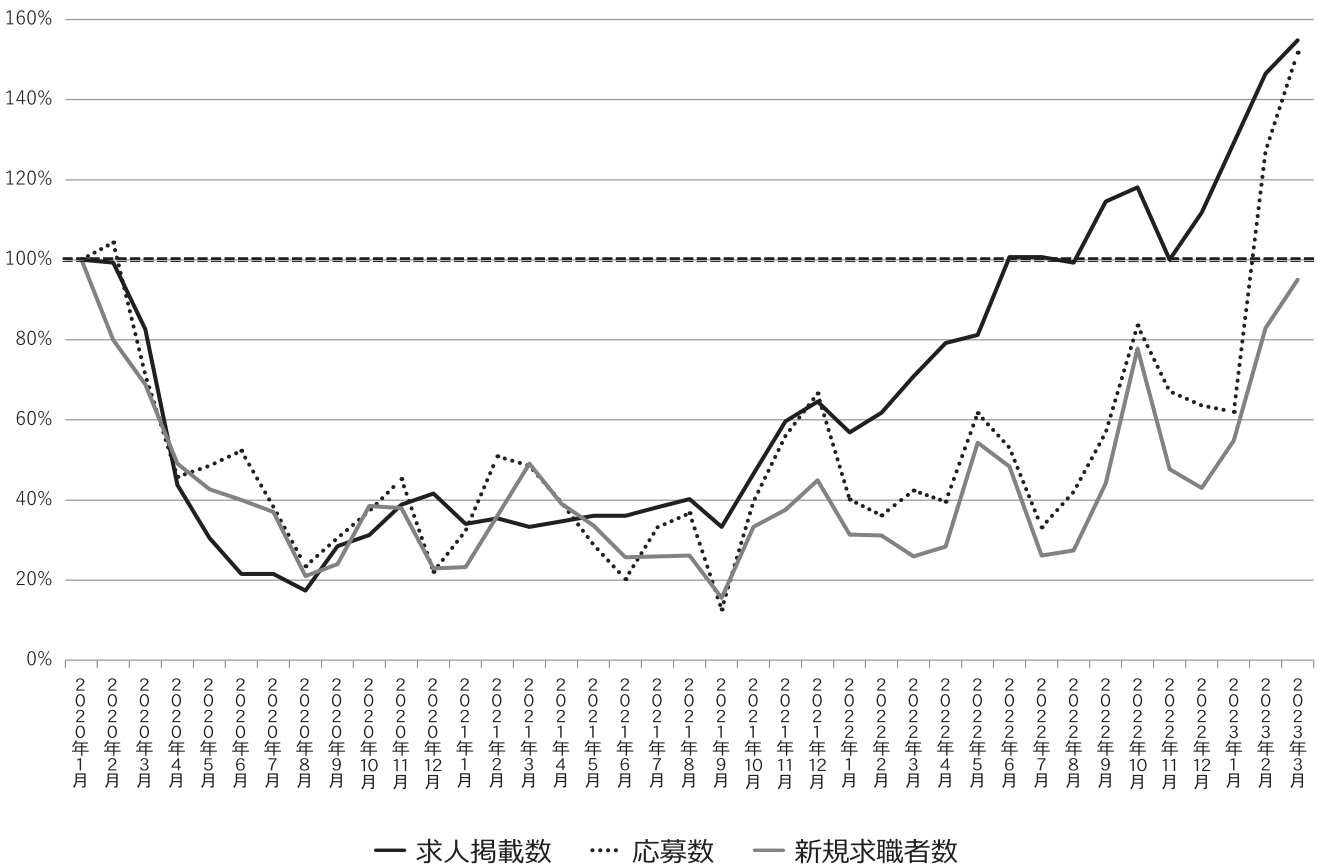


忌避理由は「待遇面の不満」

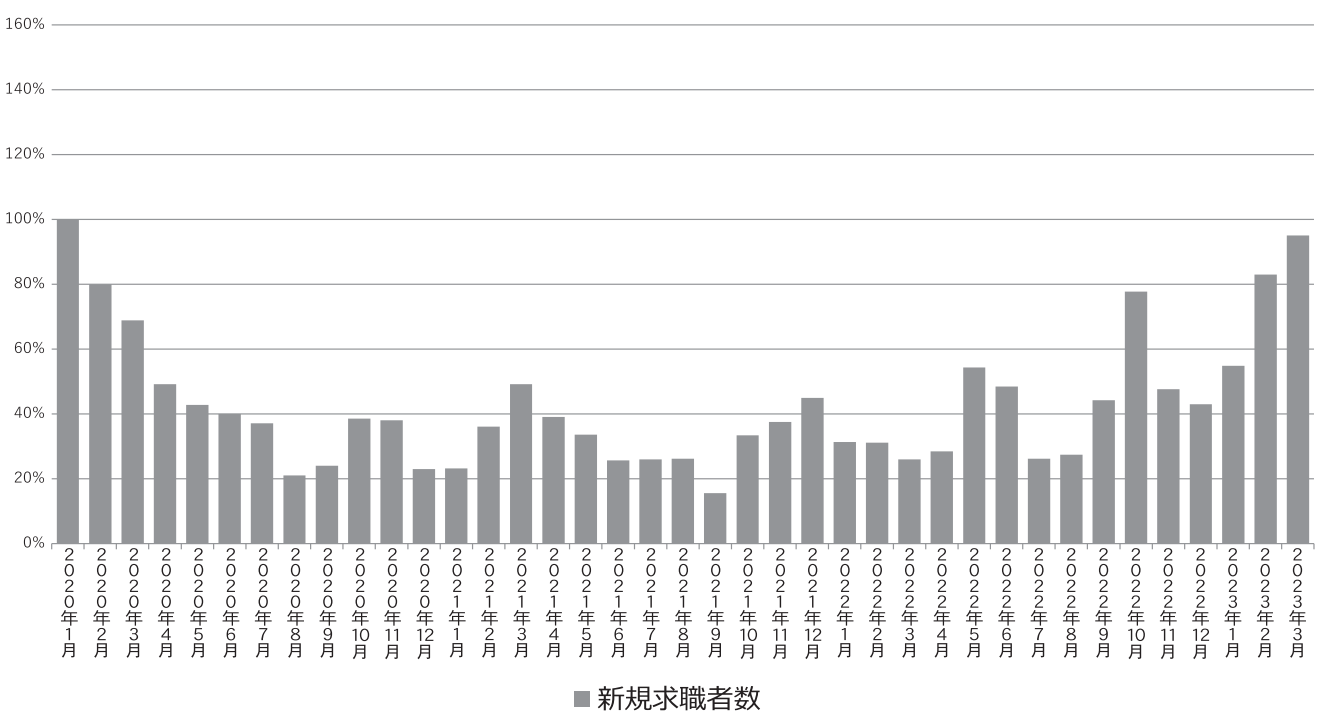
やまごころキャリア「観光業界で働くことへの意識調査」

観光業界の採用動向

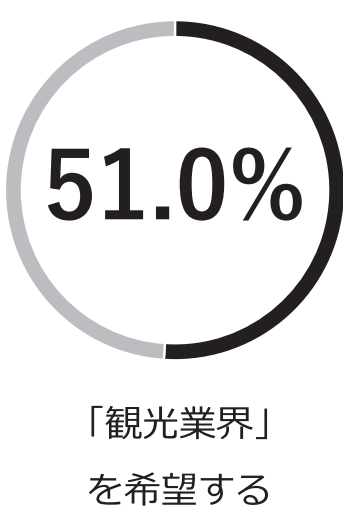
「やまごころキャリア」における求人掲載数・応募数・新規求職者数の推移(2020年1月を100%とした場合)



観光業界の採用動向（新規求職者数）

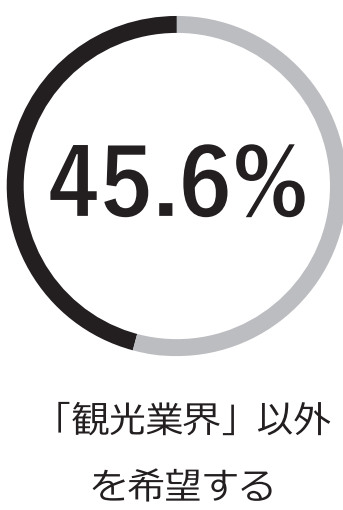


転職する場合の希望業界調査 [2023年3月調査]



順位	観光業界を希望する理由（複数回答）	回答率
1	これまでに観光業界で働いた経験を活かしたいから	61.5%
2	やりがいのある仕事だから	52.5%
3	仕事内容が魅力的だから	51.6%
4	グローバルな環境で働きたいから	47.5%
5	観光系の学問を学んでいる、もしくは学んでいたから	27.0%
6	ダイバーシティのある（性別・年齢・国籍などに関わらず働きやすい）業界だから	26.2%
7	社会的意義のある仕事だから	22.1%
8	観光業は将来性のある業界だから	19.7%
9	他業界でゼロからスタートするのが不安だから	7.4%
10	収入面が自身の希望と合っているから	4.1%

転職する場合の希望業界調査 [2023年3月調査]



順位	観光業界を希望しない理由（複数回答）	回答率
1	給与が低いから	41.3%
2	コロナなどの影響を受けやすい業界だから	39.4%
3	土日や長期休暇に休みが取れないから	33.0%
4	シフト制で労働時間が不安定だから	24.8%
5	拘束時間が長いから	21.1%
6	他に目指している業界があるから	20.2%
7	希望する職種がないから	11.0%
8	成長の機会がないから	7.3%
9	将来性がない業界だと思うから	6.4%
10	仕事内容に魅力を感じないから	2.8%

インバンド専門の求人サイト「やまごころキャリア」を運営するやまごころキャリアはこのほど、最新の観光業界の採用動向と、同社が今年3月に求職者会員を対象に実施した調査「観光業界で働くことへの意識調査」の結果を発表した。これによると、転職する場合に観光業界を希望しない理由の上位に、待遇面での不満が並び、人手不足解消の上での課題であると分かった。

今年3月は、コロナ禍以前の2020年1月と比較して求人掲載数が55%増、応募者数が52%増、新規求職者数が5%減。観光業界を希望する人は51.0%、観光業界以外を希望する人が45.6%。今後転職する予定は一切ないと答えた人は3.3%だった。2年間の定常調査の中では観光業界志望者の割合が最も高くなった。「21年6月の調査開始以来、観光業界を希望する人は微増傾向だが、当社サイトが観光業界専門サイトであることを考えると、依然として低い数値だ」と同社。

回答者の属性 [性別・国籍・年齢別合計]

		20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	合計
性別	男性	5	17	15	38	28	8	111
	女性	12	35	23	41	15	1	127
	無回答					1		1
国籍	日本	11	31	30	77	44	9	202
	外国籍	6	21	8	2	0	0	37
合計	人数	17	52	38	79	44	9	239
	比率	7.1%	21.8%	15.9%	33.1%	18.4%	3.8%	

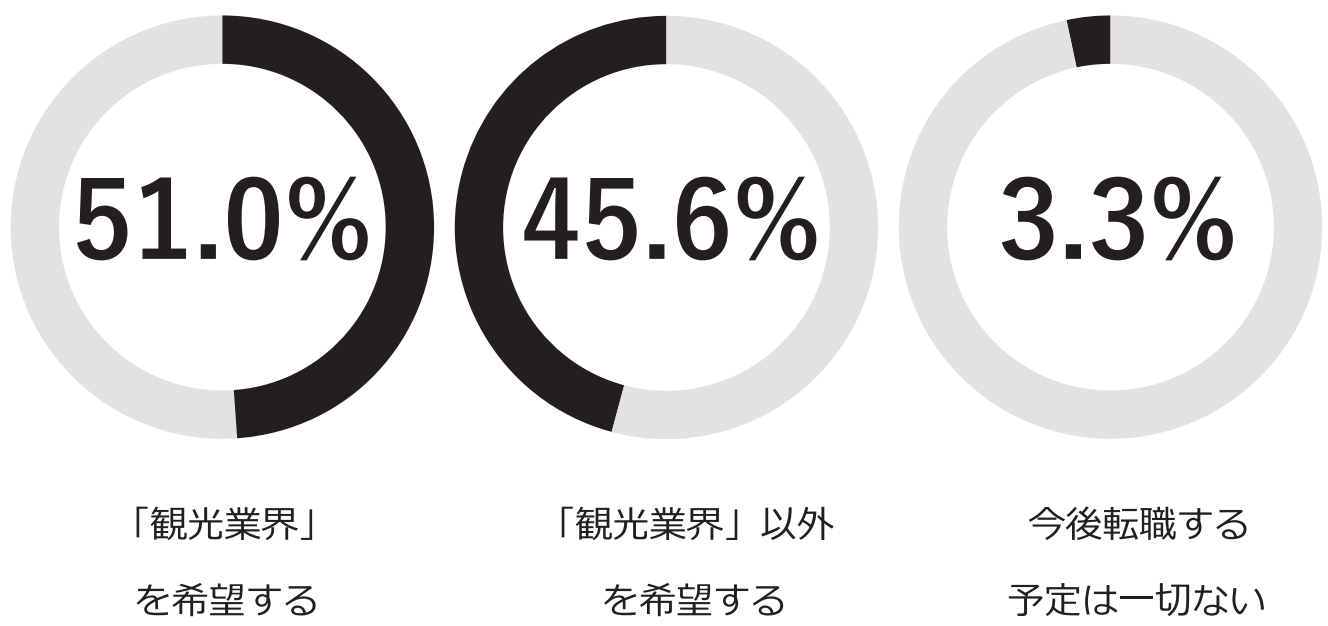
回答者の属性 [収入分佈]

	200万円以下	200～400万円	400～600万円	600～800万円	800～1000万円	1000万円以上	合計
人数	46	115	45	19	8	6	239
比率	19.2%	48.1%	18.8%	7.9%	3.3%	2.5%	

回答者の属性 [最終学歴]

	中学校/高等学校 卒業	短期大学/専門学校 卒業	大学 卒業	大学院 卒業	合計
人数	11	48	159	21	239
比率	4.6%	20.1%	66.5%	8.8%	

転職する場合の希望業界調査 [2023年3月調査]



転職する場合の希望業界調査 [2年間の推移]

